

平成 21 年度 第 4 回規制改革会議 議事録

- 1 . 日時：平成 21 年 9 月 30 日（月）16:00 ~ 16:15
- 2 . 場所：永田町合同庁舎 1 階第 1 共用会議室
- 3 . 出席者：
（委員）草刈隆郎議長、八田達夫議長代理、浅見泰司、安念潤司、翁百合、小田原榮、
川上康男、中条潮、富山和彦、福井秀夫、本田桂子、松井道夫、米田雅子 各委員
（政府）仙谷大臣、古川副大臣、泉大臣政務官
（事務局）松山統括官、小田室長、吉田参事官、鈴木室参事、越智企画官、駒井企画官、
山本企画官
- 4 . 議題：規制改革の取組 等
- 5 . 議事録

草刈議長 定刻になりましたので第 4 回の「規制改革会議」を開会させていただきます。

今日は、9 月 16 日に発足いたしました新内閣において、内閣府特命担当大臣に御就任をされて、規制改革について御担当いただくということで、仙谷大臣に大変お忙しい中を御出席いただいております。

それから、古川副大臣、泉政務官も、お忙しい中、ありがとうございます。

会議側は 15 名のうち 13 名の委員が出席で、欠席が有富委員、木場委員の 2 人だけでございますので、会議としては成立するということになります。

それでは、恐縮ですが、冒頭に大臣からひとつよろしくお願いを申し上げます。

仙谷大臣 このたび、行政刷新会議を担当し、かつ規制改革会議の事務についても政治の側からちゃんと統括をするように鳩山総理大臣から使命をいただきました、仙谷由人と申します。

これでも 1946 年、戦後生まれでございますので、何よりも戦後民主主義のプラスマイナスのところで育ってきた人間でございます。若いときには法律の仕事をしておりまして、この行政の事前指導や規制というふうなものとは少し縁の遠いところで暮らしてきたわけですが、20 年前から国会に議席を得まして、これは日本のガバナンスというか、統治というのはえらいものだ。プラスマイナス、最近ではマイナスの方が大きいわけではありますが、この行政指導あるいは規制というふうなもの弊害が大変大きいということは、私も身にしみて感じてきたわけでございます。

したがいまして、この十数年の規制緩和・規制改革の動きというのは、マーケットに対する自由な参入という観点からも非常に大事でございますし、ポスト工業化時代の産業構造の大転換に日本が対応できる国になるために、あるいは経済構造をつくるためには、どうしても、いわゆる規制改革といいたいまいしょうか、お上が上から仕切ってきた社会を、構造を変えなければならないという思いは、多分、今日いらっしゃる皆さん方と思いを同じくできるのではないかと考えております。

そういう観点で、この間の規制改革を見ておりましたら、ある意味で、規制改革をするときに、そこでもたらされる弊害についての事後救済とか事後審判とか、フォローアップの政治的な担保な

しに行うとどうなるのかというのは、私はこの日本の規制改革が少々悪いイメージで語られている部分も出てきているところではないかというのを前半のときには感じておりました。

後半はというのはポスト小泉内閣というふうにお考えをいただきたいわけではありますが、そこから先は、国会議員として見ておりましたも、一市民として見ておりましたも、少々わかりにくくなってきた。何かもやがかかっているような雰囲気規制改革論議になってきておるのではないか。そんな気分で、この間、見ておりましたが、これは素人的な、雑駁な、表面づらの見方もわかりません。

ただ、先ほど申し上げましたように、産業構造が大きく変わらなければならない。知識経済化にこの日本をしていかなければならないときに、この規制改革という論議、そして、その実行が極めて重要だということは、私自身もそういう認識を持っておりますので、改めて、この段階で政権交代をできたという段階で、今までの皆様方の御苦勞を感謝申し上げて、御礼を申し上げて、更にリスタートを切るためにどうしたらいいのか。このことについて、皆様方に少し議論をしたいなという思いがございます。

先般、草刈議長さんを始め委員の方々にお目にかかったときにその思いも申し上げたのでありますが、改めて、リスタートを切るというために、皆様方の今までの経験と蓄積、そして、この間の総括を何とか私にお聞かせをいただいて、私どもが、つまり、今日、古川副大臣と泉政務官もまいっておりますので、さあ、この規制改革というものを改めて、どう位置づけて、これからどういうコンセプトでスタートを切っていくのかということ、その資料と時間をお与えいただきたいと思っております。

取り分け、この間、私どもが横から拝見しておりましただけでございますので、正しい感想になるかどうかはわかりませんが、先生方の貴重なお時間とエネルギーをいただいて、御苦勞いたいたんだらう。そういうふうに拝察をいたします。その中で、御苦勞をかけながら、もう一つ、その御苦勞・御努力にお応えできない環境がどこかにあったとすれば、私自身も改めてそのことを勉強しながら、皆様方におわびをし、そして、これから、そのことも踏まえて、大いなる、改めての議論をさせていただきたいと、心からお願いをしたいと思っております。

どうぞ、今後ともよろしくお願いを申し上げます。

本日はありがとうございました。御苦勞様でございます。

草刈議長 どうも、大臣、力強いお言葉をいただきまして、大変ありがとうございました。

古川副大臣、それから、泉政務官、恐縮ですが、一言ずつお願いいたします。

古川副大臣 ただいま御紹介いただきました、仙谷行政刷新会議担当大臣を補佐する内閣府副大臣を拝命いたしました、古川元久でございます。

私は同時に、内閣官房の国家戦略室長を兼任いたしておりまして、菅大臣の方もお支えするという役割でございますので、微力ではございますが、皆様方の御指導をいただきながら仙谷大臣をしっかり支えてまいりたいと思っておりますので、御指導をよろしくお願ひ申し上げます。

ありがとうございました。

草刈議長 どうもありがとうございました。

それでは、政務官、恐縮ですが、お願いします。

泉政務官 このたび、内閣府大臣政務官を拝命いたしました、泉健太と申します。

私は仙谷大臣、古川副大臣の下で行政刷新会議。そして、福島大臣の下で消費者・食品安全あるいは共生社会担当。また、前原大臣の下で防災、そして、原子力・沖縄・北方等々を持っておりまして、大変さまざま、広い分野でありますけれども、やはり公共サービスあるいは市場化テストといったこともなかなか、今、思うように進まない中で、皆さんとともに意識を共有して頑張ってもらいたいと思いますので、どうぞ、御指導をよろしくお願いいたします。

草刈議長 どうも、お二方ありがとうございました。

今、大臣から御指示のありました宿題につきましては速やかに作業にとりかかります。これはこれまでの言わば総括と、それから皆さん方の御意見等を、御報告申し上げて、また、議論の機会をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、済みませんが、報道の方はこれで退席してください。

(報道関係者退室)

草刈議長 最後に事務局から連絡事項はありますか。いいですか。

小田室長 特にございません。

草刈議長 それでは、簡単ですけれども、会議はこれで終了にしたいと思います。